

# 彩雲

あ や ぐ も

AYAGUMO

2015

vol. 113  
発行日 12月13日

## Contents

- 巻頭言…………… 1
- 響きあうまちと学校…………… 2
- 8月～11月の行事…………… 3～6
- クラブ活動報告…………… 7～10
- TOPICS…………… 11

# ANJO GAKUEN



poem

巻頭詩

# あなたの中の 最良のものを

マザーテレサ

人は不合理、非論理、利己的です  
気にすることなく、人を愛しなさい

あなたが善を行なうと、  
利己的な目的でそれをしたと言われるでしょう  
気にすることなく、善を行ないなさい

目的を達しようとするとき  
邪魔立てする人に出会うでしょう  
気にすることなく、やり遂げなさい

善い行ないをしても、  
おそらく次の日には忘れられるでしょう  
気にすることなく、し続けなさい

あなたの正直さと誠実さが、あなたを傷つけるでしょう  
気にすることなく正直で、誠実であり続けなさい

あなたが作り上げたものが、壊されるでしょう  
気にすることなく、作り続けなさい

助けた相手から、恩知らずの仕打ちを受けるでしょう  
気にすることなく、助け続けなさい

あなたの中の最良のものを、世に与えなさい  
けり返されるかもしれませんが  
でも、気にすることなく、最良のものを与え続けなさい

最後に振り返ると、あなたにもわかるはず  
結局は、全てあなたと内なる神との間のことなのです  
あなたと他の人の間であったことは一度もなかったのです

principal  
speech

巻頭言

## 大海の一滴

インドのカルカッタの貧困地帯に住み、宗教にこだわらず、苦しむ人、見捨てられている人のために、献身的に奉仕したマザー・テレサさんの自伝に「わたしたちのしていることは、大海の一滴に過ぎません。ですが、もしこれをやめれば、大海は一滴分小さくなるでしょう」という言葉があります。

どんなに小さな愛でも、やることに意味があり、やり続けることが大切だということを伝えています。

マザーテレサさんのような行動はできないにして一人一人が社会の一員として「大海の一滴」になることが、助け合い、協力する大海(社会)を作り出していくことだと考えます。

朝、交差点に立って通学する生徒の皆さんに挨拶していますが、声をかけること、声をかけられることで元気になる生徒が、少しでも増えることを願って続けています。通学路が美しくあって欲しいと願いゴミも拾っています。私のできる「大海の一滴」だと考えています。

通学路に立つことで他の学校の高校生や地域の人とも挨拶を交わすようになりました。挨拶という行為が知らなかった人たちを繋いでいます。

大海も一滴、一滴の集まりです。一滴、一滴が優しさを発揮し、自分のできることをやりだしたとき、社会は確実に愛に満ちあふれた社会になっていくと信じています。「人間は、他の命に仕える時にこそ、自分の命が最も輝く」マザーテレサの言葉です。



安城学園高等学校  
校長 坂田 成夫

## 吹奏楽部

### 初めての安城七夕を憧れのジャージで!

普通科1年2組  
関 菜月  
犬山中学校出身

私は、この安城七夕まつりのパレードに初めて参加させていただきました。どんな祭りなのかどんなふうに行うのか全く知りませんでした。そして、本番・先輩方から「暑くて大変だよ」とは聞いていましたが、思っていた以上に暑く日差しが強く、大量の汗をかき、大変でした。また、この安城七夕まつりのパレードが、私にとって初めての安城学園吹奏楽部のジャージを着て迎えた本番でした。ずっと憧れていたあのジャージを着られた喜びを感じて迎えた本番だったことも鮮明に覚えています。また、このような地域の活動を通して、地域との交流や地域の方々への日頃の感謝の気持ちを伝えていきたいと思っています。これからも、支えて下さる方々のために活動していきたいと思っています。応援よろしくをお願いします。



響きあう まちと学校 安城七夕まつり  
8月7日(金)~9日(日)

## ダンス部

### 安城七夕まつりに出演して

普通科3年10組  
川下真彩  
亀崎中学校出身

今年は2日間、安城七夕まつりに参加させていただきました。ステージダンスとパレードダンス、暑い中で2つの振り両立するのは難しく、たくさんの苦勞もありましたが、それ以上に本番は楽しく、最高の思い出ができました。そして、後輩の成長も感じられ、3年生も昨年とは違うレベルアップした姿を見せる事ができたと思います。私達が成長できたのも、最高のステージになったのも、一緒に頑張ってきた仲間、たくさん支えてくれた顧問の先生をはじめ、親、友達、後輩のおかげだと思っています。3年生は引退しましたが、これから後輩が良いダンス部を作っていつてくれると思います。今後とも応援よろしくをお願いします。



# 8月～11月の行事 SchoolEvents

## 国語科広島セミナー

8月5日(水)～6日(木)

普通科1年1組  
内藤 恋奈  
吉良中学校出身

私がこのセミナーに参加しようと思った理由は、戦後70周年という節目を迎えて来年も戦後といえる年にするために、今私たちが戦争の事を知って次の子供たちへと語り継いでいきたいと思ったからです。だからこのセミナーで、実際に見て聞いて体験して、戦争を知りたいという気持ちをもって参加しました。平和記念式典の会場へと向かう中、首相に対する思いをみんなで声に出している姿を見て、私はすごく広島県民の心の痛さを感じました。戦争をもうおこしてほしくないという気持ちだけをもち、必死に声を出して感動しました。8時15分。黙祷をしながら、70年前の今の事を考えました。原子爆弾が落とされるなんて誰もか思っても考えてもいない中、ピカドンが落とされ、広島は地獄と化していたと思います。みんなが体だけでなく心に傷を負い、痛いところの話ではなかったと思います。考えただけで私も心が痛くなりました。平和記念資料館と本川小学校の展示物を見て、なにも言葉がでてきませんでした。すぐリアルな写真があったり、その時の時間のまま止まった時計や、実際に着たり身につけていた服、帽子、メガネなどたくさんのも物が展示してありました。和郎さんの話では、そのときの状況が伝わってきて、私たちは今本当に裕福な暮らしをしているんだと思いました。飲みたいときに自由に飲み物を飲めて、着たい服を自分で選んで買って、その当たり前の事が昔からしたらどれだけいい事かと思いました。家に帰ったら当たり前家族が全員いて、ご飯も用意してあって、お風呂にも入れる。そうゆう当たり前の事を当たり前だと思っていけないんだと思いました。鶴を奉納するところに、もう二度と若者を戦場へ送るまい。と書いてありました。最初にそれを見たときはただ共感しただけでした。でも今ならその人の言いたいことがすぐわかります。その一言はもっと深く辛いものだと思います。このセミナーを通して、絶対にもう戦争をおこさないという気持ちが強くなりました。来年も、再来年も戦後といえるようにしたいです。そして、



今日聞いたり見たりしたことを次の子供たちに語り継いでいきたいと思えます。今いる家族や友達が明日なくなるかもしれない、今ある自分の物や家が明日全てなくなっているかもしれない。今当たり前のことを当たり前と思わずに、毎日毎日悔いのないよう生きていきたいと思えます。

## 地歴・公民科日本史セミナー

11月14日(土)～15日(日) 平城京～京都の旅

普通科3年8組  
澤田 莉緒  
知立南中学校出身

日本史セミナーに参加するのは2回目でしたが、行先が変わっていて楽しめました。民宿でもっと交流が出来る学年問わず仲良くなれるのではないかなと思いました。自由行動の範囲も広くてたくさん回れたし、内容も充実していて楽しかったです。特に源氏物語ミュージアムが最高でした。

普通科2年7組  
加藤 真子  
大府中学校出身

ボランティアガイドの方の話もとても面白かったです。観光もたくさん出来ました。食べ物もどれも美味しく、行って良かったと思います。私は、秋篠寺が一番印象に残りました。仏像の影を見るという発想や、仏像一つ一つの小さな動き、庭の美しい様相や建築など、どれをとっても良いものばかりでした。大好きな歴史がさらに好きになれたので本当に良かったです。

## 平成27年度芸術鑑賞会

11月13日(金) 安城市民会館サルビア大ホール  
狂言①盆山 ②棒縛 ③ワークショップ

「狂言」

現存する世界最古の喜劇で600年以上の歴史を誇る狂言は、日本を代表する芸能として世界に発信されて高く評価され、2001年にはユネスコの「人類の口承及び無形遺産の傑作」として日本で最初に登録されました。



商業科1年3組  
鈴木 珠莉  
幡豆中学校出身

狂言を初めて見ました。昔の日本も今の日本も同じものをみていることがすごいと思いました。昔の人も笑うことが大好きで笑いのつぼは今もかわらないことがわかりました。楽しかったです。実際に体験してみても、すこし難しかったけれど、ちょっとまねることができてよかったです。

普通科2年2組  
稲生 小都  
安城北中学校出身

狂言という名前は知っていましたが、和風な何かだろうということしか知りませんでした。お笑いということも今回知りました。小道具が扇などの簡単なもので背景もシンプルなものでしたので、見る人によって想像する世界が違うだろうなと思いました。独特の言い方や立ち振る舞いを体験してみて、すごく難しいですが、抑揚があって飽きない喋り方だと思いました。

普通科3年2組  
坪田 綾乃  
犬山南部中学校出身

初めて狂言というものを見ました。あの狭い舞台の中だけで色々な場面転換があり、しかもそれを動きと言葉だけで表現するというところにとても驚きました。言葉の持つ力ってすごいなと思いました。実際、基本の姿勢や表情などを体験してみて、辛い姿勢なのに色々なことに気をつかい意識し、演じていることにとても感動しました。見ていてとても楽しかったです。



## 生徒会 大船度七夕ボランティア

8月5日(水)～8日(土) 岩手県大船渡市



普通科3年2組  
神谷 美帆  
高浜南中学校出身

私は、今年初めて岩手県大船渡市盛町七夕ボランティアに参加しました。安城学園からは20名もの生徒と教員・OBが参加しました。地域の子供達や大船渡東高校の生徒のみならず、お祭りに参加されてる方やボランティアで来ていた大学生の方など、本当にたくさんの交流ができました。七夕祭りは本当に楽しく、子ども達の笑顔や活気あふれる地域の方々に、ボランティアで訪れた私たちが逆に元気をいただきました。また、東日本大震災当時のお話を聞いたときには、改めて被害の大きさ、津波の怖さを感じました。震災から約5年が経ちテレビや新聞での報道が少なくなり忘れかけてしまっている分、現地に訪れた私たちが少しでも「復興は完全ではないんだ」ということを伝えなければならないと感じました。そして、これからも東北支援を続けていきたいと強く思いました。とても良い経験ができ、参加して本当によかったです。

## 地歴公民科 南北セミナー

8月17日(月)～21日(金) 宮城県気仙沼～岩手県大船渡・山田・宮古・盛岡

普通科2年12組  
藤田 美津子  
竜海中学校出身

私が東北セミナーに参加しようと思ったのは2つ理由がありました。1つ目は、震災から4年たち、一体どのくらい復興が進んだのか、テレビではなく、自分の目で見てテレビではわからない何かを自分で見つけたかったからです。2つ目は、2年になってからの私は昔の自分とだいぶ変わりました。とにかく雑になりました。朝のあいさつ、授業の受け方、友人関係。どれも面倒くさく感じ、毎日適当に学校生活を送っていました。このセミナーに行けば何か変わるかもしれないと思い参加しました。結論から言うと、参加して本当に良かったと思いました。岩手県の「山田伝津館」田村剛一さん(山田町町議)も言っていました、「自然とともに生きる」、これが何より大事で、難しいことか、セミナーに参加する前の自分よりはよくわかったんじゃないかと思えます。ですが、これらが大切です。これらどのように学んだことを人に伝えるかです。伝え方が上手ければ、その人の頭の隅にでも、地震という言葉が残るかもしれません。私たちは学校からの支援もあり、このセミナーに参加することができました。ですから、私たちには学校の生徒に少しでも東北セミナーの結果を伝える義務があります。私は説明とか苦手ですが、自分が思ったことをまっすぐみんなに伝えたいと思います。



商業科2年2組  
加藤 綾菜  
朝日中学校出身

山田町役場の屋上から町を見ながら話を聞いて、右と左の景色が全然違って、左はたくさん家があったのに右は家がなくて、それは火事によって燃えてなくなったと聞き、津波の映像をテレビで見ても言葉が失ってしまいました。火事が起きたのは、冬で灯油があったからだ知り、その火は隣の家へ隣の家へと移り、火は道路でも止まらなくてどんどん広がっていった日まで消えなかったことも知りました。今回話を聞いて、海と見えてきれいだなーとか思うけど、その海も恐ろしいものにも変わってしまうのが改めてわかりました。浄土ヶ浜では、青い洞窟をみてとてもきれいでした。ウミネコがたくさんきて、頭の上にも乗ってきました。めっちゃ怖かった～。それでも、良い思い出を作ることができました!!今、私たちに何が出来るのかを考えることが大切だということがありました。伝津館の田村剛一さんが言っていたみたいに3.11という日は絶対に忘れてはいけないと思いました。もっとみんなにいろいろと知ってもらって、考えないといけないということも思いました。



## 合唱部 東北ボランティア演奏旅行

8月17日(月)～20日(木) 宮城県南三陸町・気仙沼市、岩手県大船渡市

普通科2年3組  
小島 麻由果  
崇化館中学校出身

今回で2回目の東北ボランティアになりました。私は、現地の方々と関わり、表情の変化が気になることが何度かありました。表情の変化は、司会が花は咲くの紹介で「震災」という言葉を口にした時に顔が少し影がかかった感じがしました。ですが、歌い終わった後に泣いて下さる方や、安心したような笑顔で拍手を下さる方々を目の当たりにし、この顔を見るために小さいながらコンサートを開き、あの日物資では補えなかった心の支えになることが、今、自分達のできる精一杯の支援だったと改めて実感できました。また、今年は話を聴く機会があり、その中でも印象に残った言葉が「人は3回死にます。1回目は息が途絶えた時。2回目は焼かれる時。3回目は周りの人の記憶から完全に忘れ去られた時。」です。これを聴いて、時間が経てば忘れていくのが人間だけど、忘れないように私達が語り継いで生かしてあげることが大切だと思いました。

私は実際に現地に行き、その場の空気に触れたり話を聴くことで学べました。これは行った人にしか分からないことです。なので少しでも多くの人に東北の現状を知ってもらえるよう伝えていきたいです。

今年もたくさんの学びをありがとうございました。



普通科3年2組  
長堀 千晶  
安祥中学校出身

私は東北ボランティアに参加して、多くの場所で多くの人達と出会いました。現地の人達はとても温かく迎えてくれました。その人達は震災で心に深い傷を負った人ばかりです。震災を体験した人にしか分からないことはたくさんあると思うけど、私たちにいろんな話をしてくれました。話をしてくれた人達はみんな「大人は子ども達から学ぶ事ができた」と言います。大人達が自分の家族だけでいっぱいになっている中、親が帰って来なくて不安になっている子に自然と子ども達が集まりみんなで励まし、余震で怖がっている女の子に「大丈夫!俺が守るから!」と勇気づける男の子がいたそうです。私はその話を聞いて、その光景が目には浮かびました。私が実際に子ども達の立場だったら同じことができたのだろうか、親の立場だったら落ち着いていられたのだろうか、たくさん考えてみたけど分かりませんでした。私たちがコンサートをしている時、泣いている人が多く目に入りました。私は、自分の気持ちが聞いている人に伝わっているのだと嬉しかったです。改めて歌というのは人の心を動かせるとても良いものだと思います。合唱部に入ってよかったと思える瞬間でした。私は、この東北での体験を多くの人達に伝えていきたいと思えます。完璧に復興するには、まだまだ時間がかかると思いますが、私は今回で最後の東北ボランティアです。とても良い経験になりました。卒業してもまた東北に足を運びたいと思います。



# 学園祭 祈年

## ～命がつなく、未来への一歩～

9月25日(金)～26日(土)



### ステージ部門最優秀賞



普通科3年11組  
鶴田海渡  
六ツ美中学校出身

私たち3年11組は、9月26日に行われた学園祭において、ステージ部門最優秀賞を受賞しました。最優秀賞と聞いた時、まさか?と正直耳を疑いましたが、企画が良かったのか?ストーリーが良かったのか?私は、みんなで考え、みんなで何度も打ち合わせをして、頑張ってきた成果だと思います。一人一人の力、役割が最大限に生かされ結果に現れたのだと思います。今回の経験は絶対に忘れません。社会に出て一人一人の力が集結して大きな成果が上がることを、みんなで“人生の最優秀賞”を何度も受賞していきたいと思いました。

### 複合部門最優秀賞



普通科3年5組  
松山光一  
刈谷東中学校出身

自分は昨年に続き柳瀬先生のもとで複合部門で最優秀賞を受賞することができました。リーダー会の6人のメンバーと何回も話し合い、3年5組の問題点、今のクラスの現状など、根っこの所から見直すということをして、最優秀賞だけを狙って少ない時間の中、クラスの皆で夏休み前から頑張ってきました。初めは皆の意見がバラバラで、ダンスで楽しみたい子やダンスは苦手な語りなどをしたいという子もいました。けれど、何とか一緒にできないかと考えた結果、この複合にする事にしました。班ごとに分かれ、各班で日にちを決めて真剣に練習をしていて、各班のリーダーにはとても助かりました。吹奏楽部が多い班を少ない時間で練習してくれて、ダンス部の子にも忙しい大会の時間にわざわざ皆に教えてくれて感謝でいっぱいでした。このような皆の頑張りや協力があったからこそ、最優秀賞を受賞できました。高校最後の年に良き先生、クラスメイトに恵まれて本当に良かったです。

### デコレーション部門最優秀賞

普通科1年5組  
白江清香  
東陵中学校出身

終戦から七十年という節目の年に行われた私達にとって初めての学園祭。この日本で、広島で、どんなことが起こっていたのか。その出来事を未来へと受け継いでいかなければならない。そんな思いを込めて「未来へ繋ぐ原爆ドーム」というテーマで作品を作ることになりました。実際、作り始めると部活で忙しい人が多く、なかなか思い通りに作業が進まないことが何度もありました。けれど、学園祭が近づくにつれ部活が忙しくても作業に参加してくれる人が増え、装飾や落ちている瓦礫など細部までこだわった満足度のいく作品を作ることができました。私達が最優秀賞を受賞できたのは、最後まで諦めず協力してクラスが団結することができたからだと思いません。このメンバーで最優秀賞を受賞できて本当に良かったです。クラスみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとう。



### 調査研究部門最優秀賞

普通科2年3組  
林 紗野  
前林中学校出身

私たちのクラスは「命のリレー」というテーマで4つの企画を提案しました。1つ目の企画の「70人のピースメッセージ」では、今年戦争70年なので70人の戦争体験者の方にお話を聞き、そのお話を多くの人に知ってもらおう企画です。2つ目の企画は、クイズに正解し平和への道をたどる「迷路」です。3つ目の企画は、自分たちの思い描く平和を過去、現在、そして未来に分けて2枚の絵を描きました。4つ目の企画は、「ムービー」です。私たちのこの夏のフィールドワークの様子を1本の動画にまとめました。正直、1つのクラスで4つの企画を回すことには不安を感じました。しかし、クラスみんなが積極的に作業に参加してくれたおかげで完成することができました。最優秀賞を受賞した時は、みんなの2ヶ月間の努力が報われた気がして嬉しかったです。この企画で戦争とはどんなものだったのか、本当の平和とは何かを知ることができたと思います。



### 学園祭エンター優勝 男子バスケットボール部

普通科2年9組  
松元颯星  
依佐美中学校出身

僕たち男子バスケットボール部は毎年エンターに出場しています。ですが、今まで惜しくも優勝を逃してきました。エンターに出るために前から練習しているグループがある中、僕たちは部活の合間など限られた時間の中での練習で、本番までに完成させられるか不安になることもありました。あっという間に学祭当日になり、いざ舞台上に立つとたくさんの歓声のおかげもあって、全力でコント、ダンス、ハンドリングを披露することができました。そして念願の優勝を取ることができました。エンターで磨いた団結力で今後の部活も頑張りたいです。



### 参加型部門最優秀賞

普通科2年1組  
佐藤エリカ  
前林中学校出身

私たちは「祈年」という文化祭テーマに沿って、戦争の恐ろしさが体験できるおぼけ屋敷をやりました。戦争とはデリケートな内容です。失礼のないように、どうやればいいのかと、とても考えました。地上戦があったのは沖縄だけなので、沖縄を舞台にお客さんを主人公として、沖縄の家族、学校、戦上、防空壕でいろいろな人たちと関わってもらい、誰も助けてもらえない、誰も助けることができない苦しさを味わってもらいました。1日目は内装も演技指導も満足いかないままスタートしてしまいました。なので、お客さんやクラスの子から聞いた改善点を遅くまで話し合い、内装をガラッと変え、演技指導もしました。おかげで2日目は、怖さもクオリティも1日目より高くなり、無事、2年連続参加型部門最優秀賞を受賞できました。本当に2年1組の創造性、協力性には感謝します。2年1組大好き!!



### 講評委員長特別賞

商業科3年1組  
永田結那  
豊南中学校出身

今年の学園祭の「祈年」というテーマにそうように、私たちのクラスでは、リーダー会を中心にクラスの意見も踏まえ、「戦争から平和・沖縄」という内容になりました。女子は迷彩柄の衣装や鉄砲を使って踊り、男子は沖縄の「エイサー」、最後は「ピースとハイライト」を踊り、観ている人たちに考えてもらえるようなステージにしました。セリフも考え、一人一人が目立てる舞台になったので良かったと思います。練習をしていく中で、なかなか集まらなかったり、ぶつかったり、リーダーとしてクラスに迷惑をかけたこともありましたが、協力してくれた仲間がいたから本番も成功できて、この賞を受賞できたのだと思います。



### 2014年～2015年度 2年連続学園祭ポスター代表に選ばれて

普通科2年1組  
一見ひろ子  
幡豆中学校出身

まず、投票してくれた方々、支えてくれた友人達に、感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。そして、その期待に応えることができて、ホッとしています。昨年も今年もテーマを絵で表現することに苦戦しました。人に伝える絵を描くことの難しさを改めて実感しました。忙しい時期でいつもギリギリで製作していましたが、最後までやりきることができました。来年で高校最後の学園祭になりますが、その時もポスターに挑戦したいです。前回より、さらに良いものができるように頑張りたいです。



### 2015年度 学園祭を振り返って

#### 前期生徒会長

普通科3年4組  
蔵本紗智  
豊南中学校出身

私たち生徒会は未経験者が多く、どうなるのか不安でいっぱいのまま学園祭に向けて動き出しました。たくさんの人を笑顔にしたい、一生に残る思い出になって欲しいという思いをどのように企画に反映させたら最も良いのかを常に考えながら行動してきました。今回の学園祭では、部活生や各学年の代表者会、学園祭実行委員会などの支えがあったので成功しました。そして、生徒会企画には全校生徒が協力してくれて、本当に嬉しかったです。大変なこともありますが、全校生徒の皆さんの笑顔を見ることができて、半年間生徒会をやってきて良かったと思いました。学園祭を通して学んだことを来年の学園祭や将来に活かして行って欲しいです。半年間、前期生徒会「コトの羽」を支え、応援して下さい本当にありがとうございました。

#### 学園祭実行委員長

普通科3年11組  
中根 翔  
幸田南部中学校出身

学園祭お疲れ様でした。楽しい2日間を過ごせたでしょうか?私はステージ上から皆さんの素敵な笑顔を見ることができたので、本当にこの2日間は幸せでした。私自身、実行委員は2年ぶりですが、しかも100人を超える組織のトップ。本当に不安で一杯でした。実行委員としてやるのが分からず、何度も逃げたくなりました。しかし、こうして最後までやり遂げられたのは支えてくれた仲間がいたからでした。皆が支えてくれたお陰でこうして素敵な学園祭を作ることができました。本当にありがとうございます。3年生の皆さんは今年で終わりですが、1・2年生の皆さんは来年もあります。今年よりもっと素敵な学園祭が作れることを、私も祈っています。頑張ってください。本当にありがとうございました!!!!

# クラブ活動報告

## 2015年7月~11月

### 陸上競技部

#### 愛知県高校駅伝6位入賞・東海高校駅伝出場 11月22日(日) 静岡県小笠山総合運動公園

##### 長距離キャプテン



3年 奥村麻友 逢妻中学校出身

安城学園陸上競技部長距離は駅伝への挑戦をはじめて4年目になりますが、毎年着実にレベルアップしています。今年こそは愛知県高校駅伝で6位入賞を果たし、念願の東海大会を決めたいと、毎日走り続けてきました。しかし、愛知県の駅伝のレベルは全国的に見ても非常に高く、6位入賞は簡単なことではありません。私は長距離のキャプテンとして『仲間を、先生を、東海大会へ連れて行く!』という強い気持ちで練習に取り組んできました。駅伝は一人ではなくチーム全員で戦います。愛知県高校駅伝当日、私はアンカーを任されました。8位で私に手渡された襷(たすき)。汗で重みを増すその襷は、1区の仲間から継がれた力走とみんなの思いを感じることができる重みでした。「私が必ず6位以内で襷をゴールさせる」そう決意して襷をかけ走りだしました。道沿からの仲間の熱い声援はさらに私を加速させ、ゴールラインを6位で駆け抜けました。母との約束通り「笑顔」でのゴール。東海大会出場が決まったとき、今までにない喜びを感じることができました。思うように走れず苦しいとき、悔しいときもありました。でも、あきらめずに努力してきて本当に良かったです。先生、仲間、家族、応援してくださったすべての方への感謝の気持ちでいっぱいです。3週間後に静岡県で行われた初めての東海高校駅伝は14位。愛知県予選6位の私たちが東海では愛知県内の順位を1つ上げる大健闘。日々成長するチームですが、キャプテンの私はこれで区切りです。後輩たちに「来年は東海高校駅伝入賞」という目標を託します。しかし、走ることが大好きな私は、これからも笑顔で走り続けます。



#### 日本ユース陸上競技選手権大会 10月16日(金)~18日(日) パロマ瑞穂スタジアム

##### 砲丸投2位

僕は1年生のころは思うように結果が出ず、悔しい思いばかりでした。そこで、1年生の冬季練習で、ただただ日本一に向けて努力し続けました。その1つの目標に向けて逆算をして「今」を大事に過ごしたのです。その結果が今回の全国2位。しかし、まだ2位。頂点に立つにはまだ足りなかった。だから、これから過ごす2年生のオフシーズンを、全力で苦しみ、全力で楽しんでいこうと思います。いままで関わっていただいたすべての人に感謝の気持ちを持ち、日々<心・技・体>を鍛え、Bestを超えていきます。来年には頂点からの景色を最高の笑顔で見たいと思います。今後とも応援よろしくおねがいします。



2年 白藤聖陽 矢作中学校出身

##### 走高跳6位

僕は日本ユースで6位という結果を取めました。初めて全国大会で入賞できたことは、自分にとって大きな一歩だと思います。しかし、記録的には満足できず、反省点がたくさん見つけられた大会でした。昨年の日本ユースはうまくいかず入賞は手にも届きませんでした。その悔しさがバネとなり今年に入賞できたのだと思います。僕は勝負所になるとうまく力を発揮することができないので、その弱さがまさにて大会でもありました。来年在高校でのラストシーズンになるので、目標とするインターハイ優勝を目指します。



2年 杉本康拓 鶴城中学校出身

##### ハンマー投げ4位

私は日本ユースでハンマー投げに出場し、4位という成績を収めることができました。入部した当初は、練習についていくことまでできなかったのですが「まさか自分が全国4位になれるなんて」と、とても嬉しです。自分でも驚いています。今回の結果は、今まで一緒に練習してきた仲間のおかげでもあります。教えてくださっている先生のおかげでもあります。日々仲間と一緒に練習は、辛い内容もありますが仲間のおかげで楽しんでやれています。「自分なんか…」と最初は思っていた私ですが、切磋琢磨できる仲間に出会い「私ならできる」と考え方を考えることで、毎日の練習も頑張れました。私は安城学園陸上部へ入り、自分を変えることができ本当に良かったです。



2年 金子明奈 安祥中学校出身

##### 100mH5位

初めての日本ユースはすごく緊張もしたし、すごく楽しいと感じることができた試合でした。緊張したのは予選です。「やらなければならない」という気持ちになってしまい、プレッシャーを感じ、良いレースはできませんでした。しかし、準決勝でスタートラインに立った時には「私はいける!」と思うことができ、そのまま決勝でも自信をもって走ることができました。この全国大会は1本1本レースを進めるごとに自信がついた試合になりました。初めて全国入賞できたこと、楽しく走ることができたこと、全国の選手と知り合うことができたこと、たくさんの良い経験ができ、成長できたと感じる全国大会でした。



1年 古橋佳奈 桜田中学校出身

### 女子バスケットボール部

#### 第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会 インターハイ2015

7月29日(水)~ 京都横大路運動公園他

3年 白井 望 豊川東部中学校出身

私たち女子バスケットボール部は、京都府で行われた近畿総体で二回戦敗退という結果で終わってしまいました。一人一人やチームとしての課題を見つけることができ、自分達の取り組みの甘さを感じました。インターハイで悔しい思いをした分、ウインターカップでは、その悔しさをバネにチーム一丸となって去年の第四位という結果を上回れるように頑張ります。ここまでこれたのは、保護者の支えや応援して下さる先生方のおかげです。感謝の気持ちを忘れず安城学園らしいプレーをしていきます。応援よろしくお祈りします。



#### 第46回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 ウインターカップ2015

12月23日(水)~ 東京体育館

3年 磯貝恭子 寺津中学出身

ウインターカップ予選では、全国の切符を獲得するために日々練習からチームで努力してきました。全国出場ができることになったときは頑張ってきてよかったと思いつつも嬉しく思いました。インターハイでは2回戦敗退という結果で終わってしまい悔しい思いをした分、ウインターカップでは去年のベスト4より良い成績を残せるように至誠と徹底でチーム一丸となって頑張りたいです。そして、先生や保護者の方、応援してくださっている人たちに感謝の気持ちを忘れず、悔いの残らないように一戦一戦全員で戦っていきます。



### 女子ソフトボール部

#### 全三河大会優勝・愛知県新人体育大会3位

全三河大会 8月1日(土)~3日(月) 蒲郡東高校他

2年 杉浦奈央 高浜中学校出身

私たちソフトボール部は、全三河選手権大会、新人戦西三河大会で優勝し、県大会ベスト4まで勝ち進むことができました。しかし、私たちの目標であった県大会優勝を成し遂げることができませんでした。この大会で優勝できなかったことや自分たちの力の足りなさ、相手との力の差を感じ、悔いがありました。2年生は残り1回の全国へ行くチャンスを逃さないように、この冬、トレーニングでパワーやスピードをつけて、しっかりと課題を克服していきます。先生方をはじめ保護者の皆さま、多くの方々の支えがあってこそソフトボールができるということに感謝し、最後まで諦めず、全力で戦っていきます。今後ともご声援よろしくお祈りします。



### 陸上競技部 2学期大会・試合結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県選手権(7/18~19)           <ul style="list-style-type: none"> <li>3年 中野真琴(豊橋東部) 100m 1位</li> <li>2年 白藤聖陽(矢作) 砲丸投 2位</li> <li>2年 山浦あみか(六ツ美) 砲丸投 4位</li> <li>1年 宇野佑紀(常盤) 800m2位</li> <li>1年 近藤沙南(竜海) 砲丸投 8位</li> <li>1年 菟田梨香子(大府北) 走高跳 3位</li> <li>4x100mR 5位</li> <li>2年 掛川 菜(豊明栄)・3年 中野真琴(豊橋東部)</li> <li>1年 古橋佳奈(桜田)・2年 古賀珠那(竜北)</li> <li>4x400mR 8位</li> <li>1年 江頭亜美(大高)・2年 古賀珠那(竜北)</li> <li>1年 古橋佳奈(桜田)・2年 大原加奈子(篠目)</li> <li>全国高校総体出場者(和歌山県)(7/29~8/2)           <ul style="list-style-type: none"> <li>3年 大浦優汰(六ツ美) 八種競技</li> <li>3年 中野真琴(豊橋東部) 100m6位・100mH</li> <li>3年 金城柚花(鶴城) 走高跳</li> <li>2年 白藤聖陽(矢作) 砲丸投</li> <li>1年 宇野佑紀(常盤) 砲丸投 800m</li> <li>4x100mR・4x400mR</li> <li>3年 中野真琴(豊橋東部)・2年 古賀珠那(竜北)</li> <li>2年 掛川 菜(豊明栄)・1年 古橋佳奈(桜田)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>第58回東海陸上競技選手権大会(長野)(8/22~23)           <ul style="list-style-type: none"> <li>3年 中野真琴(豊橋東部) 100m1位</li> <li>2年 白藤聖陽(矢作) 砲丸投2位</li> <li>2年 山浦あみか(六ツ美) 砲丸投</li> <li>1年 宇野佑紀(常盤) 800m</li> <li>1年 近藤沙南(竜海) 砲丸投</li> <li>1年 菟田梨香子(大府北) 走高跳</li> <li>4x100mR・4x400mR</li> <li>2年 古賀珠那(竜北)・2年 掛川 菜(豊明栄)</li> <li>1年 江頭亜美(大高)・1年 古橋佳奈(桜田)</li> </ul> </li> <li>第3回全国選抜大会出場者(大阪)(8/29~30)           <ul style="list-style-type: none"> <li>3年 大浦優汰(六ツ美) 八種競技</li> <li>2年 金子明奈(安祥) ハンマー投</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県高校新人大会(9/26~27)           <ul style="list-style-type: none"> <li>2年 白藤聖陽(矢作) 砲丸投1位・ハンマー投3位</li> <li>2年 杉本康拓(鶴城) 走高跳1位・三段跳6位</li> <li>2年 金子明奈(安祥) 円盤投4位・ハンマー投1位</li> <li>2年 山浦あみか(六ツ美) 砲丸投3位・円盤投6位</li> <li>2年 塚本 茜(平坂) 3000m5位</li> <li>2年 掛川 菜(豊明栄) 200m5位</li> <li>2年 古賀珠那(竜北) 100m6位・200m4位</li> <li>2年 佐野綾音(吉良) 走高跳3位・三段跳2位</li> <li>1年 橋本友幸(鶴城) 400mH5位</li> <li>1年 宇野佑紀(常盤) 1500m2位・800m3位</li> <li>1年 古橋佳奈(桜田) 100mH1位</li> <li>1年 江頭亜美(大高) 100mH2位・400mH1位</li> <li>1年 近藤沙南(竜海) やり投3位・砲丸投4位</li> <li>1年 平野葉菜(吉良) 砲丸投6位・ハンマー投3位</li> <li>1年 菟田梨香子(大府北) 走高跳3位</li> </ul> </li> <li>愛知県新人大会(岐阜県)(10/24~25)           <ul style="list-style-type: none"> <li>2年 白藤聖陽(矢作) 砲丸投1位・ハンマー投3位</li> <li>2年 杉本康拓(鶴城) 走高跳2位・三段跳5位</li> <li>2年 金子明奈(安祥) ハンマー投1位</li> <li>2年 塚本 茜(平坂) 3000m4位</li> <li>2年 古賀珠那(竜北) 200m5位</li> <li>2年 佐野綾音(吉良) 三段跳8位</li> <li>1年 宇野佑紀(常盤) 1500m2位・800m3位</li> <li>1年 古橋佳奈(桜田) 100mH1位</li> <li>1年 江頭亜美(大高) 100mH3位</li> <li>1年 近藤沙南(竜海) やり投8位・砲丸投8位</li> <li>1年 菟田梨香子(大府北) 走高跳3位</li> <li>4x100mR 2位</li> <li>1年 江頭亜美(大高) 2年 古賀珠那(竜北)</li> <li>2年 掛川 菜(豊明栄) 1年 古橋佳奈(桜田)</li> </ul> </li> <li>愛知県高校駅伝(11/1) 6位           <ul style="list-style-type: none"> <li>1区1年 宇野佑紀(常盤)</li> <li>2区2年 塚本 茜(平坂)</li> <li>3区2年 上村愛子(蒲郡)</li> <li>4区2年 橋本青空(矢作)</li> <li>5区3年 奥村麻友(逢妻)</li> </ul> </li> <li>東海高校駅伝(静岡県)(11/22) 14位           <ul style="list-style-type: none"> <li>1区1年 宇野佑紀(常盤)</li> <li>2区2年 塚本 茜(平坂)</li> <li>3区1年 鈴木梨花子(上郷)</li> <li>4区2年 橋本青空(矢作)</li> <li>5区3年 奥村麻友(逢妻)</li> </ul> </li> <li>第31回福井スーパーレディーズ駅伝 愛知県チーム18位           <ul style="list-style-type: none"> <li>4区1年 宇野佑紀(常盤) アンカーの6区2年塚本茜(平坂中)</li> </ul> </li> <li>第36回豊田マラソン(11/15)           <ul style="list-style-type: none"> <li>3年 杉村良樹(安城西) 男子10km2位</li> <li>2年 山本悠斗(矢作) 男子10km4位</li> <li>3年 奥村麻友(逢妻) 女子10km1位</li> <li>1年 鈴木梨花子(上郷) 女子10km4位</li> </ul> </li> </ul>
---	--

## 吹奏楽部

### 第28回 全日本マーチングコンテスト全国大会銀賞

11月22日(日) 大阪城ホール



3年  
白金水結  
春木中学校出身

いくつものハードルを乗り越えながら1年が経ち、今年も大阪城ホールに戻ってくることができました。今年はドラムメジャーとして不安なこともありましたが、私のそばにはいつも仲間がいてくれました。1年間本当に大変な困難がつつかてきましたが、仲間と支えあい練習に励んでくれました1年生、入部してくれてありがとう。2年生、私達についてきてくれてありがとう。3年生、そばにいてくれてありがとう。感謝の気持ちでいっぱいです。そして、球技大会の練習をやりたいのに、小公園を貸して下さったり、教室を譲って下さったりした安城学園の生徒のみなさん、先生方。みなさんの優しさ温かさがあったからこそ私達はやり遂げることができました。本当にありがとうございました。この大会をスタートとして、これから安城学園吹奏楽部は進化していきます。応援よろしくお願いします。

### 第58回中部日本吹奏楽コンクール 金賞・理事長賞

10月10日(土) アクトシティ浜松大ホール

2年  
永谷香帆  
碧南中学校出身

10月10日に行われた「第58回中部日本吹奏楽コンクール」において、金賞・理事長賞を頂くことができました。

練習の中で、辛いことや不安に思うことも多くありましたが、愛をもって指導して下さる先生方や支え合える仲間が存在があり、ここまでくることができました。そして、いつも私達を応援して下さる保護者の方や先生方に対し、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、支えて下さる方々に感謝の気持ちを忘れず、音楽で恩返しできるよう、日々の練習に精一杯取り組みたいと思います。応援ありがとうございます。



## 弦楽部

### 日本学校合奏コンクール全国大会銅賞 11月14日(土) 千葉県文化会館大ホール



3年  
三浦綾香  
幸田南中学校出身

私たち弦楽部は、11月14日に千葉県文化会館で行われた日本学校合奏コンクール全国大会で、銅賞を獲得しました。演奏した曲は、芥川也寸志作曲の「弦楽のためのトリプティック」第1・第3楽章です。6月末から練習を始め、日々練習に励んでいました。第3楽章では、2拍子3拍子、5拍子と拍子が様々に変化する大変難しい曲でした。顧問の金沢先生をはじめとする先生方にボウリングの使い方・強弱のつけ方など丁寧に教えて頂き、その度、曲に変化が生まれ、私たちは皆で曲を創り上げていくことを学びました。全国大会では銅賞でとても悔しい思いをしましたが、演奏では今までで一番良い演奏ができました。これも指導して下さった先生方、応援して下さい下さる方々のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

## 2学期大会・試合結果

### ◇男子バスケット部

・第45回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(10/31~11/8) 愛知県大会3位

### ◇女子バスケットボール部

・全国総体出場(近畿)(7/29-30)  
・東海私学 3位(8/10~12)  
・第82回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会 愛知県予選 準優勝(8/29-30)  
・第46回全国高等バスケットボール選抜優勝大会 愛知県大会 優勝(10/31・11/1・7-8)  
・第82回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会 東海ブロック予選 準優勝 (11/21・22)

### ◇卓球部

・西三河個人選手権(7/28-29)  
女子シングルス 準優勝 2年 成瀬由梨(足助) 3位 2年 大久保有紗(蒲郡)  
女子ダブルス 優勝 2年 濱口乃愛(六ッ美)・大久保有紗(蒲郡) 3位 2年 成瀬由梨(足助)・東野 望(設楽)  
・愛知県新人体育大会 西三河予選(10/24) 女子学校対抗 優勝  
・愛知県高等学校新人体育大会 県大会(11/22-23) 女子学校対抗 5位(12/23~25東海新人体育大会出場)

### ◇ソフトボール部

・愛知県高等学校ソフトボール選手権大会(7/18~26) 第3位  
・第48回全三河高等学校選手権大会(8/1~3) 優勝  
・第26回中部日本私立高等学校選抜大会(8/26~28) II部準優勝  
・愛知県高等学校新人体育大会 西三河支部予選(9/12・13・19・20) 優勝  
・愛知県高等学校新人体育大会 県大会(10/31~11/3) 第3位

### ◇バレーボール部

・愛知県私立高等学校 男女バレーボール選手権大会 ベスト8(7/28-29) 2月の東海大会出場  
・下村杯争奪 西三河総合バレーボール選手権大会 ベスト16(8/22-23)  
・全日本バレーボール選手権大会 西三河予選 3位5位 県大会出場(10/3-4)

### ◇バドミントン部

・第12回西三河大会(8/5~7)  
女子シングルス 優勝 1年 佐久間璃子(大府北) 準優勝 1年 藤網玲奈(東山)  
女子ダブルス 優勝 1年 佐久間璃子(大府北)・1年 大城憂奈(矢作) 準優勝 1年 藤網玲奈(東山)・1年 小田朱莉(大府)  
・新人戦 全三河予選(9/21・22・23・26) 女子団体 ベスト8 女子シングルス ベスト16 1年 佐久間璃子(大府北) 女子ダブルス ベスト8 1年 佐久間璃子(大府北)・1年 藤網玲奈(東山) ベスト16 1年 大城憂奈(矢作)・1年 小田朱莉(大府)  
・新人戦 愛知県大会(11/1-3) 女子シングルス 1回戦 1年 佐久間璃子(大府北) 女子ダブルス 2回戦 1年 佐久間璃子(大府北)・1年 藤網玲奈(東山) 1回戦 1年 大城憂奈(矢作)・1年 小田朱莉(大府)

### ◇野球部

・第97回全国高等学校野球選手権 愛知大会 3回戦進出(7/11~21)  
・平成27年度秋季西三河高校野球大会 優勝(8/12~27)  
・第68回愛知県高等学校野球選手権大会 ベスト32(9/5~12)  
・第133回全三河高校野球大会 1回戦(10/24)  
・第3回愛知県高等学校野球1年生大会 1回戦(11/14)

### ◇ハンドボール部

・愛知県高等学校選手権大会(西三河支部予選)(7/22~24)第3位 県大会出場  
・愛知県高等学校選手権大会(県大会)(8/3-4) ベスト16  
・碧南大会(8/7-8)  
・西三河地区高等学校ハンドボール選手権大会(8/19~8/21) 第8位  
・愛知県高等学校新人体育大会(西三河支部予選)(11/8) 2回戦敗退

### ◇ソフトテニス部

・国民体育大会選手選考会兼愛知県総合選手権大会西三河予選会(7/11-12) ベスト16 3年 寺田梨奈(若園)・3年 佐々木未来(逢妻) 県大会出場  
・愛知県高等学校新人体育大会西三河予選会 (9/19-20) ベスト32 1年 倉橋亜実(河合)・1年 石川玲奈(安城北) 全三河大会出場  
・西三河高等学校選手権大会 (11/7) ベスト8 1年 倉橋亜実(河合)・1年 石川玲奈(安城北)

### ◇男子サッカー部

・西三河支部サッカー大会 ブロック敗退 (7/20-21)  
・全国高校サッカー選手権西三河予選 西三河ベスト16 (8/23)  
・私学祭 1回戦敗退 (9/23)

### ◇女子サッカー部

・清水レディースカップ 優勝 (7/25~27)  
・愛知県高校リーグ 1部 準優勝 (6月~12月)  
・愛知県選手権大会 1回戦 (8/15~9/19)  
・東海U-18 プリンセスリーグ 2部 (7月~12月)  
・愛知県高等学校選手権大会 第3位 (9/20~10/17)

### ◇男子硬式テニス部

・テニス西三選手権大会(個人の部)(7/31) シングルス ブロック 準優勝 2年 安坂駿佑(朝日)  
・愛知県高等学校テニス新人体育大会 西三河予選 (9/13) 個人戦ダブルス ブロックベスト4 2年 安坂駿佑(朝日) 2年 壁谷謙汰(安城南)  
・テニス西三選手権大会(団体の部)(11/3) ダブルス 本戦トーナメント 2回戦敗退 ベスト16 2年 安坂駿佑(朝日)・2年 壁谷謙汰(安城南)

### ◇女子硬式テニス部

・西三河テニス選手権大会(個人)(7/31~8/4) シングルス 4回戦進出 2年 植野愛理(矢作)・三浦穂乃華(朝日) 1年 鈴木みら乃(富士松)  
ダブルス ブロックベスト8 2年 中根萌花(矢作)・1年 小林優佳(六ッ美)  
・新人戦西三河予選 (9/5~23) 個人戦 シングルス ブロックベスト4 1年 松尾七海(安城北) 1年 宮口桃花(西尾東) ブロックベスト8 2年 純浦美岬(矢作)・稲垣泉美(刈谷南) 1年 宮口桃花(西尾東) ダブルス ブロックベスト8 2年 松尾七海(安城北)・鬼原瑠風(幸田)  
団体戦 1回戦 VS 吉良高校 5-0 2回戦 VS 岡崎城西 0-5  
・西三河テニス選手権(団体・ダブルス)(10/31) 予選決勝進出 2年 山内七海(井郷)・杉本愛莉(竜北) 1年 加藤久愛(安城西)・小林優佳(六ッ美)

### ◇アーチェリー部

・27年度ジュニアアーチェリー大会 (8/28) 50・30m女子の部 2年 久米美歌(東浦北部) 予選通過 50・30m男子の部 2年 忠谷 篤(六ッ美北) 予選通過 50・30m男子の部 2年 黒柳 馨(竜北) 予選通過  
・秋季アーチェリー大会(新人戦) (10/12) 50・30m女子の部 2年 久米美歌(東浦北部) 予選通過 50・30m男子の部 2年 忠谷 篤(六ッ美北) 予選通過 50・30m男子の部 1年 海野直幸(安城北) 6位

### ◇吹奏楽部

・第70回全日本吹奏楽コンクール東海大会銀賞 (8/30三重県文化会館)  
・第58回中部日本吹奏楽コンクール 金賞・中部日本吹奏楽連盟理事長賞(3位) (10/10アクトシティ浜松ホール)  
・第28回全日本マーチングコンテスト銀賞 (11/22大阪城ホール)

### ◇弦楽部

・日本学校合奏コンクール全国大会銅賞 (11/14千葉県文化会館)

## Topics1

# 高校生・戦後70年「未来」プロジェクト 全国高校生自転車リレー

～9.12「平和の灯・石巻の灯」自転車リレー安城に参加して～



### 普通科3年5組 高見 礼奈 竜北中学校出身

担任の先生に言われ、参加した自転車リレー。2走者目に走ったけれど、上り坂があり道もデコボコしていたり細かったりと、運動不足な自分には大変でした。でも、無事に次の走者に渡せたので良かったです。あまりこのような行事に参加しない私にとって「同じ高校生がこんなにも活動しているの!」をより近くで見て、感じる事が出来ましたし、企画に参加したことを誇りに思います。このような素晴らしい企画にたくさん参加している安城学園高校に入学できて良かったです。他の学校では経験できないことをたくさん経験しました。この企画を思い出で終わらせずに後輩達に繋いでいきたいです。ありがとうございました!

### 普通科1年3組 成瀬 未来 東浦中学校出身

私は今回の自転車リレーに参加してこれからの日本の平和について考えさせられました。夏休みの間にたくさんの高校生が持ってきてくれた灯を私が見つないで持ってくということはとても緊張しましたが、また次の人につないだときの達成感はとても大きくて、ゴールで最後の班の人たちを出迎えたときはとても感動しました!今回のことをきっかけに平和とはなんなのか、学園祭のテーマの祈年の意味がなんなのかをあらためて考えることができよかったです。このような素晴らしい機会があったら積極的に参加したいです!

## Topics2

### 帰国報告

26年7月～27年6月  
アメリカ・ミシガン州



### 普通科3年1組 片岡美樹 美濃加茂西中学校出身

私は1年間アメリカに留学してきました。アメリカの高校生活をドラマや映画で見ていくうちに英語やアメリカの文化に興味をもつようになりました。それをきっかけに留学したいと思いました。

私はその一年間を生涯に一度しかないチャンスだと思い、自分が憧れをもっていたことの全てに挑戦することに決めました。チアリーディング部に入部し、映画のようにアメリカンフットボールの試合を応援しました。また、ドレスを着てプロムへ行くことや卒業式でガウンを着て最後にみんなと帽子を上に乗せたことなど、一つ一つの思い出が私の宝物です。

留学をして様々な国の方と友達になり、世界への視野が広がりました。この経験を生かし将来は国際的な人間になりたいです。

## Topics3

### 後期生徒会メンバー紹介

生徒会長	2年	山口 祐希	(大高中学校出身)
副会長	2年	野平 皇	(末野原中学校出身)
書記	1年	太田 亜由香	(三谷中学校出身)
会計	1年	松本 愛梨	(寺津中学校出身)
	2年	堀江 美波	(安城西中学校出身)
渉外	2年	伊藤 伸一	(西尾中学校出身)
	1年	原 文音	(岡崎南中学校出身)
	1年	神谷 百花	(矢作中学校出身)

### 2015年度 後期生徒会方針 『ココロの緒』

- ①人と人とのつながりを大切にする。
- ②伝統を受け継ぎながら、新しいものをつくっていく。
- ③地域や他校との交流を増やす。

安城学園の生徒会は地域や名古屋のフェスティバルに参加するなど日々活発に活動しています。夏休みには岩手県大船渡市の七夕ボランティアに参加し、大船渡東高校さんとも交流してきました。

また、昨年度の後期生徒会から日本福祉大学附属高校さん、豊橋中央高校さん、安城学園の三校で三校合同企画をスタートさせました。今年の学園祭では三校がそれぞれ「未来に向かって新たな一歩を踏み出す」をコンセプトに足型アートを作りました。先日行われた安城オータムで三校の作品を集め展示しました。

